

TECH未来通信

2021.MAR
VOL.037



〒184-8501 東京都小金井市貫井北町4-1-1
東京学芸大学内20周年記念飯島同窓会館1階
042-316-6645 ✉info@techmirai.jp

TECH未来を使ってきた先生方(その21)

岩手県でのTECH未来

今回は、盛岡市立大宮中学校の川村輝(かわむらひかる)先生にお話を伺いました。今年度、初めてTECH未来を使用して授業実践をしてくださっており、題材指導計画やワークシート等の開発にも熱心に取り組んでくださっているようです。そんな川村先生にインタビューしてきました。

ー現在、教員何年目ですか？

岩手県花巻市出身で、埼玉県の日本工業大学工学部建築学科を卒業し、教員2年目になります。

ー技術科の先生になった理由を教えてください！

幼い頃からものづくりは好きでしたが、当初は野球部の先生にアコがれて中学校の教員を志しました。最初は技術の教員に強いこだわりを持っていた訳ではありませんが、大学の所属が建築学科だったため、建築デザインなどを学んでいくうちに、建物や椅子などの意匠設計のおもしろさに惹かれていきました。そのため、大学卒業後は東京で教員になろうか、建築設計の職に就くかで悩んでいました。しかし、大学4年生の時に母校の中学校で教育実習をさせて頂いたときに、生まれ育った県で技術の教員になって設計やものづくりのおもしろさを岩手の子どもたちと共有したいという思いが強くなり、現在岩手県の教員として勤務させて頂いております。



ーTECH未来を使用するきっかけがあれば教えてください！

同期(二戸市立福岡中学校:藤澤先生)がTECH未来を紹介してくれ、今年度から活用しています。

ーTECH未来を使用するにあたって、工夫していることがあればぜひ教えてください！

TECH未来研究サイトのワークシートを参考にしながら、自分なりに改良して配布しています。特に、生徒たちが学習活動の見通しが持てるよう、レイアウトにこだわって作成しています。

ーTECH未来を使用した生徒の反応は？

平歯車の動力伝達の仕組みを、自ら手を動かしながら興味深く観察の様子や、何度も試行錯誤しながら、改良を重ね、問題解決に向かっていく生徒の姿が印象的です。TECH未来は、自分の考えたとおりに何度も修正・改良をしてカタチにすることができるので、何度も試行錯誤しながら模型を作り、図面に表していく建築の設計に似ているところが面白いと感じます。

ー今後TECH未来でどんなことをしてみたいですか？

今年度は電気自動車の開発学習に取り組みましたが、来年度の題材はまだ検討中です。来年度もTECH未来を活用する予定ですが、今年度同様、地域の問題解決と絡めた題材にしていきたいです。

ー最後に一言！

人としても教員としてもまだまだ未熟であり、日々、生徒たちから学ばされること、気づかせられることばかりの毎日です。岩手の復興と発展に寄与していくため、さらに精進して参りたいと思います！

編集後記

川村先生の熱意や地元への思いは生徒さんにも届いているのではないのでしょうか。今後も川村先生のご活躍に期待しています！ありがとうございました！